では、小説の書き出しに挑戦しよう！

※2000字程度の小説を想定した書き出し

えんぴつくん、ケシゴムくん、前回つくったあらすじをもとに書いていこう！

突然、和男にとんでもない電話がかかってくるところから始めるよ。

日曜だというのに、なんの予定もなく朝からボーッとしていた。テレビはつまらない、電話もかかってこない、メールの返信もない、気がつくと午後になっていた。部屋でうとうとしていると、電話がなり起きた。非通知だったが、寝ぼけていたので出てしまった。

ふたり暮らしの兄と弟、仲のいい感じを書き出しにしたいな。

「お兄ちゃん、明日来れるよね！」

うれしそうに拓が言った。明日は弟の運動会。でも、明日はあの「約束の日」でもあるのだ。行けないと、拓に伝えるのはつらいが、約束を守らないと父と母のところに戻れなくなってしまう。

「ナゾ」は大切だが、しぼったほうがいい。五郎が明日、天国に戻らなければならない、を強調しよう！

改善ポイント！ もっとも強調したいところを際立たせるために、わざと入れない要素をつくる、つまり「捨てる」ことも大切だ！

五郎はじつはゴーストだということを、いきなり出したほうがいいか…。

僕らの本当の別れが24時間後にせまっていた。最後に弟の勇姿をこの目で見たいが、天国で僕を待つ父と母のところには戻れなくなってしまう。期限を守ること、それが拓にもう一度会う条件だったのだ。

主人公がゴーストであること、期限つきで下界に来たことを冒頭で出すことで、強烈なイメージが読み手に伝わる。弟思いの兄＝テーマにもつながるぞ！

ハイ！ わかりました!!

改善ポイント！ 短編小説の場合、ムダな文字、文章を書いているゆとりは一切ない。「ナゾ」「ドキリ」を早めに出し、テンポよく話を進めよう。

和男のキャラがわかるような部分も入れ、これから純子の言動に振り回されるわけだから…。

ポイントをふまえ、主人公のキャラがわかるような部分も入れ、書き直してみよう。

普段だったら出ない僕なのに、非通知の電話に出てしまった。寝ぼけていたのだ。女がいきなり「和男？　ちょっと、あなたでしょ、長谷川君殺したのって」と言った。眠気が一気にふっとび、その瞬間ヒマな日曜はサイアクの日曜に変わった。

まずは「ナゾ」出し成功だ。主人公が慎重派だということも伝わるぞ。そんな彼がどう巻き込まれ、最悪の日曜を過ごすことになるか、知りたくなる書き出しになった。

書いてみてわかったと思うが、書き出しには入れたい要素がたくさんある。それらをしぼっていくことが大切だ。力み、意気込む気持ちもわかるが、あわてず落ち着いて。何度も書き直す覚悟で挑戦しよう！

万年筆先生のプチプチメモ

小説の書き出しには、じつにさまざまなパターンがある。「会話の途中から入る」「いきなり主人公が窮地に立たされる」「回想の形、語り手の自己紹介から始まる」「物語の背景を詳しく描写する」などなど。古今東西のいろいろなジャンルの小説を読み、それらを知ることも書くうえで大切だ。

ハガキ文学大募集！

1枚のハガキにキミのオリジナルの小説を書いて送ってね！　テーマ、ジャンル、長さは自由。びっちり書くのもよし、数行でもOK！　おもしろい作品は、万年筆先生が誌上で紹介&アドバイスするよ〜!!　住所・氏名・電話番号を書いて

〒101-8001　東京都千代田区一ツ橋2-3-1　小学館

小六⑧「小説すらすら講座」係　まで送ってね！

※個人情報の取り扱いについては、227ページをご覧ください。

次回のテーマは

タイトルをつけよう！

思わず読みたくなるタイトルとは!?　いろいろなジャンルの小説を例に学んでいくよ!!

ハガキ文学大発表！

今月のすらすら賞

ある日、かおるは夢をみた。クラスメートのちずが引っこす夢だ。一ヶ月後ちずが引っこした。今度は、先生にほめられる夢をみた。一週間後やはり先生にほめられた。

「予知夢だ！」かおるはうかれた。夢をみるのが楽しみで仕方なかった。

また、夢をみた。今度は、ウエディングドレスを着てあの人とキスする夢。

「えぇ…」かおるは寝気がした。なぜならかおるは男だったからだ…。

陣内由希子/兵庫県

万年筆先生のすらすらメモ

今年、第6回フランツ・カフカ賞を受賞した村上春樹。過去、この賞を受賞した作家ふたりが、それぞれその年のノーベル文学賞を受賞。歴史は浅いが重みがある賞と知られている。現代日本の作家でもっとも海外で読まれているムラカミ。はたして、ノーベル文学賞受賞となるか？

「12歳の文学賞」の詳細は82ページだよ！　イラスト&題字／そにしけんじ　デザイン／菅野加代子　構成／吉川